

平成23年度京都府公立高等学校入学者選抜のための学力検査の出題について

(その1)

<出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも標準授業時数での学習範囲とし、中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。また出題範囲は、中学校学習指導要領改訂の移行措置による新課程の先行実施に伴い、生徒が履修している各教科の内容を踏まえた適切なものとなるようにする。

<特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、資料や図表、解説文等を用いて、語句の記述や図表の作成等の問題を設け、生徒が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみた。

<各教科の特色と傾向>

【国 語】

- 1 古文では、近世の文章を題材とし、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解する基礎が身に付いているかどうかをみた。

〔出典〕「可笑記（かしょうき）」（「近代日本文学大系 第一巻」国民図書株式会社 より）

如備子（によらいし）による、江戸時代初期の仮名草子。随筆風の形式をとっている。

問題文は、人の口を出入りする「よきもの」「いたづらもの」と、それらの出入りに際しての態度について述べた文章である。自分自身の言動にも結びつく内容を読み取る中で、考えを深め、古典に親しむ態度が養われていくことを期待する。

- 2 現代文では、書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえて内容を理解する力をみるとともに、言語事項についての理解をみた。また、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の内容に関連した問題を設けた。

〔出典〕「移ろいの美学 — 四季と日本人の美意識」 高階秀爾

（「日本の美Ⅲ 日本の四季 春夏」株式会社美術年鑑社 より）

問題文は、美術史学者・美術評論家の高階秀爾氏による「移ろいの美学 — 四季と日本人の美意識」の一部である。伝統的短詩型文学の世界にみられる特徴や、著名な古典作品の表現をよりどころとして、移ろいやすいもの、はかないものに対する日本人の美意識について述べている。

書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえるとともに、日本の文化と伝統に対する関心や理解を深めさせたい。

【社 会】

- 1 中学校での、調べ方や学び方を身に付ける学習を踏まえて、フィールドワーク的な要素をもった設問とした。地図の読図や、統計資料の読み取り、作業的要素を取り入れた問題などを通して、基礎的・基本的な内容についての理解をみるとともに、論理的な思考力や資料を活用する力をみた。また、身近なことがらを例にした問題、時事的なことがらに関する問題を設け、社会の諸問題に着目させた。
- 2 小問の数は、各分野の授業時間数等に留意したものとした。広い視野から社会的事象を総合的にとらえる力の定着をみるため、大問全てを地理、歴史、公民の各分野の内容に関連付けた融合問題とした。

【数 学】

- 1 基礎的・基本的な内容の理解と計算の技能を確かめるとともに、数量、図形について、基礎的な概念や原理・法則に基づいて数学的に表現・処理する力、見通しをもって論理的に考察する力をみるように工夫した。
- 2 日常生活に関連付けた問題を設け、事象を数理的に考察する力をみるとともに、数学的な見方や考え方を用いて問題を解決することができるかどうかをみた。また、中学校学習指導要領改訂の移行措置に対応した出題とした。

平成23年度京都府公立高等学校入学者選抜のための学力検査の出題について

(その2)

<出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも標準授業時数での学習範囲とし、中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。また出題範囲は、中学校学習指導要領改訂の移行措置による新課程の先行実施に伴い、生徒が履修している各教科の内容を踏まえた適切なものとなるようにする。

<特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、資料や図表、解説文等を用いて、語句の記述や図表の作成等の問題を設け、生徒が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみた。

<各教科の特色と傾向>

【理 科】

- 1 観察や実験の操作に関わる設問を通して、観察や実験の技能に関わる基本的な事項が定着しているかどうかをみた。また、既知の情報をもとにして実験結果の予想を立てたり、結果を分析するなどの設問を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかどうかをみた。
- 2 物理、化学、生物、地学の各領域からほぼ均等に出題し、基礎的・基本的な概念を正しく身に付けているかどうかをみた。また、中学校学習指導要領改訂の移行措置に対応した出題とした。

【英 語】

- 1 日常生活の場面でよく用いられる表現を通して、基礎的・基本的な内容を問うことにより、英語での実践的なコミュニケーション能力の基礎が身に付いているかどうかをみた。また、実際の言語使用を考慮し、4領域（聞く、話す、読む、書く）を関連付けた出題とした。
- 2 読解問題では、伝統工芸品である京人形を題材とした英文を読んで内容を的確に把握できるかどうか、読書を題材とした対話文を読んで必要な情報を読み取ることができるかどうかをみた。
- 3 リスニング問題では、短い対話を聞いて質問に対する適切な応答ができるかどうか、まとまった内容をもつ対話を聞いて概要を日本語でまとめることができるかどうか、短い対話を聞いてそれに続く適切な英文を選択できるかどうかをみた。